



FUTURE VALUE DESIGN

私たちの未来価値

私たちは人間価値や価値生産を時代と重ね合わせて考えてきました。過去と現在を中心とした既存思考と付加価値生産の時代から未来脳による新たな創造生産と未来価値へと大きく変容していることに気づきました。しかし、視点開発、評価やミッションがデジタルを活用する時代にうまく対応していない現状です。

そこで倫理 × 創造 × 安心 = 新たな信頼をベースとし「気づき」「可能性」「安全」を重視するコンセプトのもと正解ではなく可能性を再評価し、適切な判断をおこなうことができるようデザイン。時間軸、予感、思考、想像も評価軸に加え未来価値や未来経済を創造します。そして、視覚的な個別性、対話的な個別性、倫理的一貫性、未来脳などの思考的独自性、想像共有を通して未来認知力を高めます。未来は予測するものではなく、予感や思考、可能性を認め共に創るものとしてドライブさせます。

【未来コンセプト例】

- 「未来価値をトリガーとした未来認知と創発プロセスによる成長」
- 「個としての空間をつくり新たな信頼を醸成する」
- 「AIは可能性と進化を引き出す伴走者としてデザイン」
- 「倫理エンジンを使った即興未来モデルとした未来会話思考」

例えば未来認知や創発プロセスでは、従来において過去データ → 予測 → 対策へのフローですが、未来脳においては未来価値 → トリガー → 即興モデル生成 → 新たな可能性が新たな価値と認識されます。新たな未来コンセプトでは次の内容を軸に未来ワークとして進化させます。

【未来テーマトリガー例】

- 多層な会話生産タイプ（信頼と可能性による対話）
- 倫理デザインによる価値の信頼化
- 知覚から想像、思考を加えた未来認知プロセス
- H4世界観とトレンド想像（H3をベースにしたスパイラル視点とトレンド）
- 未来レンズによる視点拡張（スコープ開拓と新ミッション、未来経済体験）
- 未来脳フレームワーク（過去、現在、未来と役割）
- クリエイティブチェーン（安全、公正、創造による未来コンテンツ）

【未来テーマトリガー例2】

- スーパータイム（時間を超えた想像拡張とスピリッツ）
- AIコールネームとアバターネーム（AIと人間の関係、システムと個の空間）
- 未来データ保全（可能性と権利、未来データコントロールの倫理制御）
- 未来防御（未来リスクと創造、会話、資源、物流、宇宙、海底）
- 未来人材投資（未来評価とガバナンスによる組織アプローチ）
- アバターなど会話によるプロトタイプ生産

また、私たちが取り組んでいるFuture Service"はトリガーやレンズを用いて新たな領域発見や意識共有をおこない"Future Sensing Avatar Platform"構想は新たな会話生産と未来思考をおこなうツールです。これは新しいAI活用パラダイムであり、倫理的に健全な未来データを価値化するものです。

本内容やコンセプトにご興味がある方、ご質問やサービス詳細についてお知りになりたい方は以下のアクセスにてコンタクトできます。

HOME PAGE:<https://www.marcury-vision.com>

E-MAIL:contact@marcury-vision.com

PODCAST NAME:CONCEPT FUTURE

Yuko Nagaki

MARCURY VISION LLC

YUKO NAGAKI

CEO/Future Producer